

報道関係者各位

2015年11月19日

森ビル株式会社

タウンマネジメントのノウハウを活かし、東京の磁力を向上

新橋・虎ノ門エリアの活性化に向け「一般社団法人新虎通りエリアマネジメント」を設立

森ビル株式会社は、環状第二号線(新橋～虎ノ門)地上部道路「新虎通り」沿道を基盤に事業展開する法人等8者と共同で「一般社団法人新虎通りエリアマネジメント」(以下、本法人)を、10月30日に設立しました。これは「新虎通り」における、より積極的かつ活発なエリアマネジメントの推進を目的とするもので、本法人の代表理事には、当社タウンマネジメント事業部を所管する取締役常務執行役員 小笠原正彦が就任しております。

昨年開業した虎ノ門ヒルズと一体整備された新虎通りは、沿道一帯(約5ha)が「東京のしゃれた街並みづくり推進条例」に基づく街並み再生地区に指定されているほか、道路を賑わいの場として活用する「東京シャンゼリゼプロジェクト」の対象地域にもなるなど、東京の新しいシンボルストリートを目指し、東京都や港区による様々な施策が実行、検討されています。

当社も、虎ノ門ヒルズにとどまらず、新虎通りを含めたエリアマネジメントを推進するという考えのもと、地域関係者とともに発足した「新虎通りエリアマネジメント協議会」に参画し、関係者と道路空間の利活用等を通じた街のブランディング、賑わいの創出に取り組んでまいりました。また、沿道の当社所有地を活用した賑わい施設の誘致なども当社独自に展開しています。



新虎通り沿道における当社の主な実績は次頁を参照ください。

新橋・虎ノ門エリアから東京の磁力を高める

当社が虎ノ門ヒルズの南北や新虎通り沿道で推進する3つのプロジェクト*が都市計画決定され、また日比谷線新駅計画も東京圏国家戦略特別区域に認定されるなど、新橋・虎ノ門エリアは虎ノ門ヒルズ開業を機に大きく動き出しています。この度の法人設立によって、道路内での常設店舗の運営や広告展開、イベント開催など、エリアマネジメントを展開する体制も整いました。当社が培ってきた街の運営力、ブランド力、ネットワークを、今後さらに積極的に提供し、官民連携によるエリアマネジメントをより主体的に推進することで、世界を代表する企業が集積しグローバルな人々が集う同エリアの発展、ひいては東京の磁力向上を果たしてまいります。

*虎ノ門一丁目地区第一種市街地再開発事業(2015年7月都市計画決定)、愛宕山周辺地区(I地区)開発事業(2015年9月都市計画決定)
新橋四丁目計画(2015年6月都市計画決定)

新橋・虎ノ門エリアは、新虎通りが開通し、国家戦略特区に基づく再開発や新駅が計画される等、今注目を集めるエリアです。「新虎通り」はオリンピック道路とも言われ、東京都のシャンゼリゼプロジェクトも展開されていますが、開通したばかりで沿道の建替えもこれからの状況です。エリアマネジメントは、街を育むという息の長い取り組みですが、地元の皆様と共にオリンピック道路、シンボルロードに相応しい活動が展開できるよう邁進していく所存です。

一般社団法人新虎通りエリアマネジメント代表理事
森ビル株式会社 取締役常務執行役員 小笠原正彦

【本件に関するお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 田澤、渡邊

TEL : 03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306 E-mail : koho@mori.co.jp

<参考資料> 新虎通り沿道における森ビルの主な取り組み

森ビルでは、昨年開業した虎ノ門ヒルズにとどまらず、新虎通りを含めたエリアマネジメントを推進するという考えのもと、地域関係者とともに発足した「新虎通りエリアマネジメント協議会」に参画し、関係者と道路空間の利活用等の検討、清掃活動や街のブランディング、通りの賑わいを創出に取り組んでいます。また、新しくできた通りの賑わい創出に貢献すべく、当社が沿道に所有する遊休地に、賑わい施設を積極的に誘致しています。

GOOD MORNING CAFE & GRILL <2014年6月〜>

虎ノ門ヒルズと新虎通りの交差点に2014年6月にオープンした広幅員歩道に面したオープンテラスが開放的なカフェ。虎ノ門ヒルズのオフィスワーカーだけでなく、周辺のビジネスマンの人気のスポットとなっている。



URBAN RESEARCH DOORS 虎ノ門店 <2015年5月〜>

新虎通り沿い初のアパレルショップの「URBAN RESEARCH DOORS」と、カフェダイナーの「TINY GARDEN KITCHEN」が同時オープンし、通りの新たな賑わい拠点となっている。



BMW iブランド・ショールーム <2015年9月〜>

持続可能な次世代モビリティを提供するBMWのサブ・ブランド「BMW i」のさらなる啓蒙を目的に、世界初となるBMW iブランド・ショールーム「BMW i Megacity Studio」が登場。プレミアム・ブランドとして発信力の高い同施設の誕生は、エリアの活性化、賑わい創出に大きく寄与している。



「港区自転車シェアリング」サイクルポート設置

港区が2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、通勤時の渋滞緩和や観光を目的に導入したコミュニティサイクルシステム「港区自転車シェアリング」のポートを、虎ノ門ヒルズ他に設置。



エリアマネジメント協議会の活動実績

新虎通りエリアマネジメント協議会について

「新虎通りエリアマネジメント協議会」は、森ビルや、新虎通りの地域の方々を中心として平成26年3月に発足。新虎通り及びその沿道を魅力的で持続可能なまちへ導き、まち全体の価値向上につなげるため、道路空間の利活用や道路空間を良好な状態で保っていく方法等について検討・活動を行うことを目的としている。



オープンカフェの設置

東京シャゼリゼプロジェクトにおける道路占用許可の特例制度を利用したオープンカフェを新虎通りの歩道上で展開。「新虎通りエリアマネジメント協議会」が占用主体となり運用しています。

新虎通りロゴマークの作成

新虎通りを末永く、愛され、親しみのある通りとしていくため、新虎通りのロゴマークを作成。作成に当たっては、沿道地域の方々にご回答いただいたアンケートの結果を参考にデザインを改良したうえで、協議会会員による投票を行い決定した。

清掃活動

魅力的な通りを形成する取り組みの一環として、NPO法人green birdの協力のもと道路の清掃活動を毎月第2・第4木曜日に実施。清掃活動には、毎回多くの方にご参加いただいている。